

高岡市子育て支援施設個別施設計画

2021 (R3) 年 3 月

2025 (R7) 年 4 月改定

高 岡 市

1 本市の公共施設マネジメントの取組み

本市では、これまで人口の増加や住民ニーズなどに応じて公共施設を整備してきましたが、現在、これらの施設の老朽化が進行しています。今後、人口減少や少子高齢化が進行し、厳しい財政運営を強いられることが見込まれる中、近い将来、老朽化した施設に対する多額の改修・更新費用が必要となることを見込まれます。

このため、本市では、公共施設の総合的かつ計画的な管理を進めるため、2016(H28)年3月に「高岡市公共施設等総合管理計画（以下「管理計画」という。）」を策定し、公共施設マネジメントの基本方針を「施設総量の適正化」「長寿命化の推進」「施設の有効活用」と決めました。

さらに、2018(H30)年3月には、公共施設マネジメントを強力に推進していくため、個々の施設の集約化、複合化、譲渡、廃止、コスト削減など、今後の具体的な方向性の指針となる「高岡市公共施設再編計画（以下「再編計画」という。）」を策定し、公共施設の総延床面積を2035(R17)年度までに15%削減する目標を達成するため、施設再編に取り組んでいます。

今後も維持していく施設については、管理計画に掲げる基本方針に基づき、耐用年数以上の使用を可能とするよう長寿命化を推進するため、「高岡市子育て支援施設個別施設計画（以下「個別施設計画」という。）」を2021(R3)年3月に策定しました。

2 計画の位置づけ

個別施設計画は、管理計画の下位に位置づけられる計画です。

3 対象施設の概要

分類	施設名	所在地(地番)
保育園・認定 こども園	中央保育園	丸の内 84
	西部保育園	横田本町 616-1 外
	川原保育園	内免一丁目 779-2
	はおか保育園	波岡 156
	佐野保育園	佐野 376
	二塚保育園	二塚 968-2
	万葉なかよし保育園	二上町 1105-1 外
	伏木古府保育園	伏木矢田 623 外
	太田保育園	太田 644-1 外
	福岡あおぞらこども園	福岡町土屋 115-1 外
	牧野かぐら保育園	姫野 654 番地 5

分類	施設名	所在地(地番)
幼児・児童施設	伏木児童館	伏木東一宮 613-2 外
	野村児童センター	野村 898-4
	戸出児童センター	戸出町三丁目 2274
	西部児童センター	千石町 261 外の内
	野村校下放課後児童育成クラブ	野村 898-4
	川原校下放課後児童育成クラブ	川原町 65-1
	下関校下放課後児童育成クラブ	東上関 8 外
	木津校下放課後児童育成クラブ	木津 312-1
	牧野校下放課後児童育成クラブ	中曽根 6-1
	牧野校下第二放課後児童育成クラブ	中曽根 6-1
	野村いわせの放課後児童育成クラブ	蓮花寺 585-1 外
	能町校下放課後児童育成クラブ	能町南二丁目 110
	能町あおぞら放課後児童育成クラブ第二	能町南二丁目 110
	石堤学童クラブ	石堤 459

※個別施設計画で対象とする施設は、2025(R7)年3月31日現在で保有する建築物である。

ただし、現在稼働していない施設は対象外とする。

4 計画期間

13 年間 (2023(R5)年度～2035(R17)年度)

5 対象施設の状態等（建物状況、利用状況、収支状況（2023(R5)年度））

施設名	延床面積 (㎡)	構造	耐用 年数 (年)	建築 年度 (年度)	築年数 (年)	資産老朽 化比率 (%)	劣化度 (点)	耐震性 (点)	利用者数 (人)	収支 (千円)
中央保育園	939.50	鉄筋コンクリート	47	S55	43	86	30	100	—	▲81,950
西部保育園	1,269.34	鉄骨鉄筋コンクリート	47	S51	47	98	28	100	—	▲105,744
川原保育園	659.59	鉄筋コンクリート	47	S44	54	100	25	100	—	▲82,089
はおか保育園	756.68	木造	22	H26	9	41	12	100	—	▲80,376
佐野保育園	604.20	鉄筋コンクリート	47	S59	39	81	24	100	—	▲81,569
二塚保育園	470.02	鉄筋コンクリート	47	S61	37	77	24	100	—	▲84,146
万葉なかよし保育園	1,685.76	鉄筋コンクリート	47	H26	9	18	11	100	—	▲126,852
伏木古府保育園	1,041.01	鉄筋コンクリート	47	H7	28	62	24	100	—	▲104,761
太田保育園	601.82	鉄筋コンクリート	47	S63	35	75	18	100	—	▲71,217
福岡あおぞらこども園	754.44	鉄筋コンクリート	47	S56	42	89	11	100	—	▲86,853
牧野かぐら保育園	1,492.25	鉄骨造	34	H29	6	15	6	100	—	▲129,114

施設名	延床面積 (㎡)	構造	耐用 年数 (年)	建築 年度 (年度)	築年数 (年)	資産老朽 化比率 (%)	劣化度 (点)	耐震性 (点)	利用者数 (人)	収支 (千円)
伏木児童館	297.51	鉄筋コンクリート	47	H9	26	55	23	100	5,186	▲9,641
野村児童センター	300.69	鉄筋コンクリート	47	S55	43	89	29	100	13,611	▲9,536
戸出児童センター	308.19	鉄筋コンクリート	47	S61	37	71	19	100	18,500	▲9,065
西部児童センター	298.10	鉄筋コンクリート	47	S62	36	70	18	100	10,410	▲9,220
野村校下放課後児童育成クラブ	180.30	鉄骨造	34	H17	18	54	18	100	41	▲1,924
川原校下放課後児童育成クラブ	86.35	鉄骨造	34	H25	10	30	16	100	31	▲3,313
下関校下放課後児童育成クラブ	144.15	鉄骨造	34	H14	21	63	24	100	52	▲2,850
木津校下放課後児童育成クラブ	115.93	鉄骨造	34	H17	18	54	20	100	36	▲1,846
牧野校下放課後児童育成クラブ	123.12	鉄骨造	34	H20	15	45	16	100	35	▲2,103
牧野校下第二放課後児童育成クラブ	128.82	鉄骨造	27	H30	5	15	9	100	34	▲2,631
野村いわせの放課後児童育成クラブ	114.59	鉄骨造	34	H21	14	42	16	100	32	▲2,035
能町放課後児童育成クラブ	117.11	鉄骨造	34	H21	14	42	16	100	40	▲2,385
能町おおぞら放課後児童育成クラブ	163.05	鉄骨造	34	R1	4	12	6	100	38	▲2,476
能町おおぞら児童育成クラブ第二	135.58	鉄骨造	34	R1	4	12	6	100	34	▲2,421
石堤学童クラブ	169.02	鉄筋コンクリート	47	S55	43	52	8	100	28	▲2,156

※利用者数について、保育園・認定こども園は4月1日時点の入所者数、放課後児童育成クラブは登録児童数

資産老朽化比率は、35%～50%程度が平均的な値といわれており、対象施設は、平均で56%となり老朽化が進行しています。

劣化度は、改修を行った施設や日頃から丁寧な管理、利用が行われている施設は、築年数に関わらず低くなります。

耐震性は、耐震化不要の建物を100点、現行の耐震基準に満たない又は耐震診断未実施の建物を0点とし、対象施設は一部を除き耐震化不要となっています。

6 対象施設の今後の方向性

再編計画において、対象施設の今後の方向性を示しており、各施設の判定結果等は次のとおりです。なお、方向性が維持（コスト削減、利用促進を含む）の施設は、今後、長寿命化により維持していくこととします。

再編計画（抜粋）

施設名称	方向性	実施期間			摘要
		I (2023-27)	II (2023-32)	III (2023-35)	
中央保育園	方針決定				
西部保育園	方針決定				
川原保育園	方針決定				
はおか保育園	方針決定				
佐野保育園	方針決定				
二塚保育園	方針決定				
万葉なかよし保育園	方針決定				
伏木古府保育園	方針決定				
太田保育園	方針決定				
福岡あおぞらこども園	方針決定				
牧野かぐら保育園	方針決定				
伏木児童館	維持				
野村児童センター	複合化				複合化により機能は存続。既存施設は廃止
戸出児童センター	利用促進				
西部児童センター	利用促進				
野村校下放課後児童育成クラブ	維持				
川原校下放課後児童育成クラブ	維持				
下関校下放課後児童育成クラブ	維持				
木津校下放課後児童育成クラブ	維持				
牧野校下放課後児童育成クラブ	維持				
牧野校下第二放課後児童育成クラブ	維持				
野村いわせの放課後児童育成クラブ	維持				
能町放課後児童育成クラブ	維持				
能町おおぞら放課後児童育成クラブ	維持				
石堤学童クラブ	維持				

※高岡市公立保育所等基本方針にそってあり方を検討

7 長寿命化の考え方

管理計画において、公共施設マネジメントの基本方針の1つとして「長寿命化の推進」を掲げています。「今後も保有し続ける必要性のある施設については、対症的な「事後保全」から計画的な「予防保全」による維持管理にシフトし、定期的な点検・診断等により、劣化・損傷の程度や原因等を把握・評価し、優先度に応じた修繕を行うことにより、LCCの縮減を図るとともに、安全・安心を確保しながら期待される耐用年数以上の使用に努める」としており、この基本方針に基づき長寿命化を推進します。

また、公共施設の改修や更新の際は、誰もが使いやすい施設となるよう、ユニバーサルデザインの視点を取り入れた整備や改修等を必要に応じて進めていきます。

対象施設は、計画的な保全に努めてきたことから、一部の不具合を除き、躯体等に関す

る大きな問題はなく、今後、定期的な点検・修繕等を実施の上、必要があれば個別施設計画を見直すこととし、更なる長寿命化を図ることとします。

8 対象施設の対策費用

対象施設における設備の更新や改修等に要する対策費用は、計画期間中において 1.5 億円を見込んでいます。ただし、実際の対策費用は、工事発注時における詳細な設計や今後の災害等の発生状況、社会情勢の変化を踏まえながら算定します。

○用語解説

行	用語	解説
カ行	公共施設マネジメント	公共施設の総合的かつ計画的な管理を行う仕組み
サ行	資産老朽化比率	建物の取得価額に対する減価償却累計額の割合。資産の老朽化度合を表す指標で、35～50%程度が平均的な値といわれており、100 %に近いほど老朽化していることを表す
	事後保全	施設、設備が故障した段階で修繕を行うこと
タ行	耐震性	耐震化不要の建物を 100 点、現行の耐震基準に満たない又は耐震診断未実施の建物を 0 点とし、各棟の床面積で加重平均した値
ヤ行	予防保全	施設、設備を計画的に点検・修繕し、故障を未然に防ぐこと
ラ行	LCC（ライフサイクルコスト）	施設の計画、設計の段階から建築、維持管理、解体に至るまでに必要な費用の総額
	劣化度	施設管理者が行う部位ごとの点検結果(A～D の 4 段階評価)を点数化したもの。点数が大きいほど劣化が進行していることを意味する